



なぜこういうことをするべきなのか

アルツハイマー病や認知症の人にみられる傾向

- 平衡感覚の変化または歩行困難のためつまづきやすい
- 視力低下のためはっきり見えない
- 水を止めたりガスレンジやオープンスイッチを切るのを忘れやすい
- ナイフ等の使い方や、火がついているもの正しい扱い方を忘れる

自宅を安全な場所に

アルツハイマー病または認知症の人は、何が危険で、何が安全なのかを正しく判断できないことがあります。混乱を招くようなことを減らし、自宅でよりリラックスできるようにお手伝いすることが、事故を防ぐことにつながります。

あなたにできること

家の中をシンプルに

- 部屋が片付いている状態を保つ
- 「よく使う」ものを同じ場所に置く
- 壊れやすいものや必要のないものは置かない

床をチェック

- じゅうたんは、小さいもの、厚みのあるものや床の上で滑りそうなものは置かない
- 床をワックスなどでピカピカに磨かない
- コード、本、玩具、かばん、箱など床にもものを置かない
- 浴室やキッチンの床は常に水で濡れないようにし、濡れた足で歩かない
- もたれかかっても大丈夫なテーブルや椅子を使う

危険なものは置かない

- あらゆる薬品（ビタミン剤、アスピリン、処方薬）を鍵のかかる箱、キャビネット、引き出しにしまう
- ナイフ、はさみ、銃、鋭利なもの、マッチ、ライターを見えないところや鍵のかかる場所にしまう
- 掃除用品は高い棚の上に置くか鍵のかかる場所にしまう
- ガスコンロやオープンのつまみを取り外す

認知症の方を以下のような状態で一人にさせない

- キッチン：ガスコンロやオープンがついた状態
- 浴室：水が出ている状態
- どこでも：たばこ、葉巻、パイプに火がついている状態
- 開いているまたは鍵のかかっていないドアやゲート付近



ヘルプライン
844.HELP.ALZ
alzgla.org